

広報

くにみ

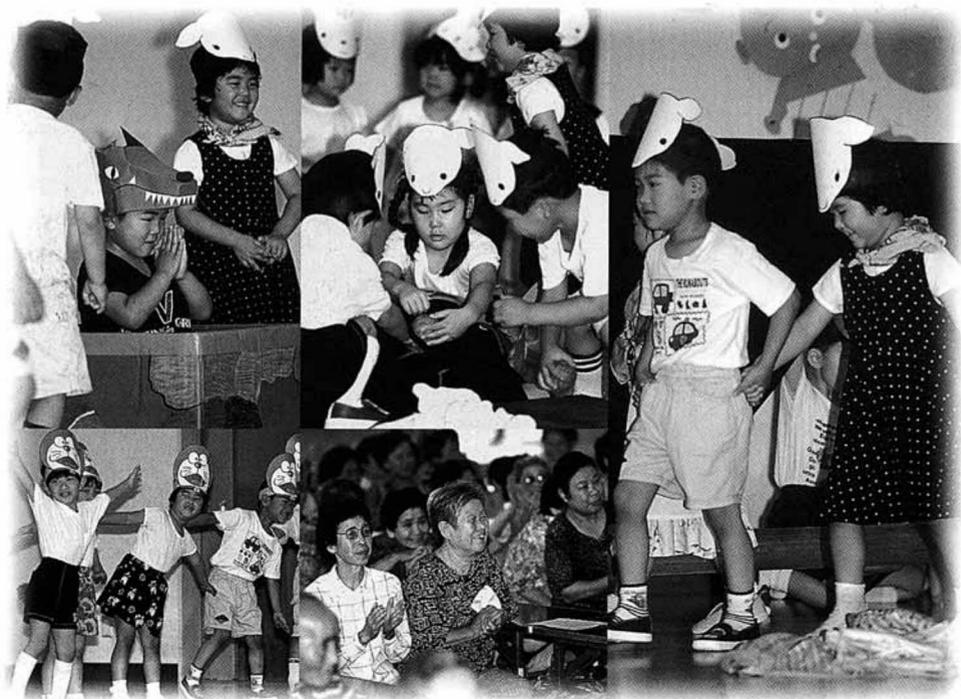
8

1998

平成10年8月15日……………No.302

目次

〔特集〕くにみの女性たち……………	2
町の健康づくり事業……………	8
いんふおめ〜しょん……………	15



7月4日に大校季節保育所の園児たちが、七夕まつりを開きました。おいしいちゃんやおばあちゃんを招いて、歌やリズムダンスを元気いっぱい披露しました。そして、最後は「狼と7匹の子やぎ」の上演です。せりふも振り付けも上手にでき、たくさんの拍手を浴びました。

歌って踊って、
お芝居も。



くにみの 女性たち



七月一日現在の国見町の人口は、一万一千四百十六人。このうち、女性が五千八百九十九人、男性が五千五百七十七人。かつて「太陽」といわれた女性たち。今も、その笑顔は、家庭を、地域を元気づけてくれます。いろいろな分野でがんばっている国見の女性たちに、お話をうかがいました。



強さ

羽賀 えいさん



「私にとつて絵を描いている時間はね、痛いことも苦しいことも忘れさせてくれる、一番楽しい時間なの。」

羽賀さんは、一級の身体障害者です。関節リウマチ。四十歳を過ぎたころに発病し、体中の関節が痛み、手足の指も曲がってしまいました。

「病氣との付き合いは、かれこれ三十年になるの。病氣では苦労したわね。一番ひどかったころには体中が痛んで、死ぬことばかり考えていたわ。でも、人間はね、内臓の病氣ならまだしも、手足の痛みでは死ねないのよ。」

「絵を描きたい」

股関節と両ひざに人工関節を腕や指の手術などを行いました。歩くことが難しくなり、家に閉じこもりがちになりました。

「外出できなくなつて、それまで何とかが続いていた俳句の会や水墨画の教室も自然脱会した形になつてしまつたの。でも、絵は描きたかつた。だから、自分を励ますことができるのなら自分で描きましよう、続けています。絵の先生が見れば足りないものがたくさんあるのでしようけど、もともと絵が好きなんですもの。」

「楽しみを見つけること」

羽賀さんの絵は、身障福祉会の伊達支部作品展で会長賞を受賞するほどの精緻な絵です。

「風景画が好きなの。失敗してもとどから、思い切つて大胆に色を塗っていくの。日本画はもともと線で表現するものなんだけど、私の絵は色を重ねていくの。その方が陰影が出るのよ。毎日、絵筆を持たないの、何か忘れ物をしたみたいなのがしてならないの。だから、障害があつても自分にできる趣味や楽しみを持つことは大切なことなんじゃないかしら」。羽賀さん

「家族に感謝」

は、今年も出展する予定です。

毎日、羽賀さんの身の回りの世話をしているのが、久子さんです。「本当によくしてくるのよ。二人の孫たちも何かしら気遣つてくれるわ。もつとも、男の子だからべたべたしない、かっつとした心遣いな。たくさんの人たち、とりわけ家族の支えがあるからこそ、好きな絵を描き続けられるのね。心から感謝しているわ。あの子たちに料理の一つでも作つてあげれば、おばあちゃんの株が上がるのになんねえ。」

●● 身体障害者福祉 ●●

国見町で、身体に障害を持つ人は、4月現在で346人です。このうち、最も重い障害を持つ1級障害者は82人、また、これに次ぐ2級障害者は76人です。

けがや病氣などで手足が不自由になるなど、身体的な障害を持つ方と、ペースメーカーを埋め込んだり、人工透析を行わなければならないなどの内部疾患による障害を持つ方がいます。

国見町では、医療費、福祉タクシーなどの助成をはじめ、補装具給付事業、日常生活用具給付事業などの福祉行政を進めています。

また、身障福祉会伊達支部が主催する今年の作品展は、10月に伊達町で開催されます。



ボランティア

佐藤 洋子さん

佐藤さんは、民生委員でもありません。

「点字図書館の点訳ボランティア養成講座に募集したときには、応募者が多く、もれてしまいました。その後、仕事をやめて、自由な時間を持てるようになってから、『にじの会』という点訳ボランティアの団体に加入しました。現在の会員は百十人ほどいます。国見町にも、一緒に活動している方がいるのですよ。」

「ネットワーク」

点訳は、まず、目の不自由な人や健常者が『にじの会』に、読みたい本や点訳してほしい書類などを依頼します。それを受けて、会では登録してあるボランティアに点訳を依頼します。

「依頼されるものには、小説はもちろん、目の不自由な方たちが集みや会合で使用する資料、列車の時刻表をはじめ、県立点字図書館や盲学校、駅、郵便局などの公共施設からの点訳依頼

などもあるのですよ。また、私たちの団体は、全国規模のネットワークを持っていますから、英和辞典の点訳なども全国各地の点訳ボランティアが手分けして共同で行っています。もちろんボランティアですから無料奉仕です。」

「自分を高める」

「毎週木曜日に定例会が開かれ、それぞれが点訳した本などを持ち寄り、製本します。一週間があつという間です。点訳するときには、漢字などは正確に読まなければなりませんから正確な文字などは、一覧表を作成し、図書館へ行って調べたり、本の発行元に確認したりもするのです。また、自分で校正をします。会でも二回ほど校正します。点訳の作業よりもうこうし作業の方が大変ですね。」

「みんなのためになること、人の役に立てることをすることは、自分を高めることでもあるとい

●● ノーマライゼーション ●●

子供も、高齢者も、そしてまた、心身に障害を持つ人も、持たない人も、みんなが人として尊重され、区別されことなく暮らせる社会こそが、自然で、正常な社会なのだという、福祉の基本的な考え方のことをいいます。

そして、この言葉には、男女の性の違いがあっても、制約されことなく、それぞれが同じ立場で、ともに考え、意見を述べ合い、行動し、高め合う社会を目指すという意味も含まれています。

う佐藤さん。

「目の不自由な方にも点訳技術を身につけていただくことが私たちの仲間を対象にした指導者の講習会も開かれています。それに、若い女性の仲間が増えたことも、とてもうれしいことです。」

「目の不自由な方の大半は、生まれながらの視覚障害者よりも、むしろ中途失明した方のほうが多いのです。」

点訳ボランティアの活動は、地味で、時間と根気が必要です。この活動を六年ほど続けている

農業

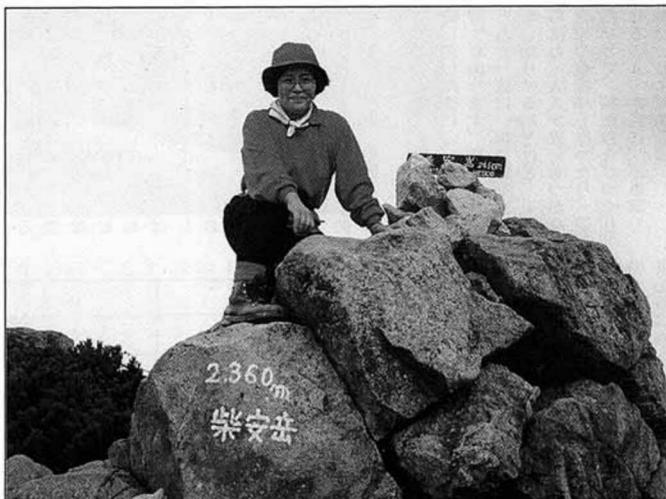
「専業農家は、お母ちゃんでもっているんじゃないから。共同経営者ですもの。力仕事は男の人になかないけど、農業は根気のいる仕事もたくさんあるの。うちみたいな果樹農家だと、摘蕾、実すくり、袋かけ作業など、こまごまとした仕事が結構あるものなのよ」。

結婚して三十三年、農家に嫁いだのも、今こうして農業をしているのも、農業が好き、作物を育てることが好きだからなのです。実家も農家でした。子供のころから進んで手伝いもし、高校も農業高校に決めた佐野さんです。

「時間を上手に使う」

山歩きが趣味で、若い女性たちと一緒に、おしゃべりしながら山を歩くこともたびたびです。それに自然保護観察員の資格もとりました。農業について

佐野 一子さん



の話題になったときのことです。「彼女たちは『趣味でする農業はいいけど、暮らしていくための農業は大変だと思う』といっていました。農業が好きだ、楽しい、というだけで農業をしている私より、彼女たちはしっかりとしているな、と思う一方で、

●●●農業委員会●●●

農業委員会は、昭和26年に設立された行政委員会です。市町村農業委員会を基盤にして、都道府県農業会議、全国農業会議所があります。

農家が直接選ぶ委員、農協農業共済組合などが推せんする委員、そして市町村議会が推せんし、市町村長が選任する委員で構成されています。

農業委員会の役目は、地域の農政課題に農家とともに取り組み、地域農業を発展させる推進役となって、農地の権利委譲や農地の流動化の業務を通して、農地の保護と利用を促進することです。また、農家の声を政策に反映させたり、悩みや要望に答えていくために、月1回の定例総会を開いています。

県内の女性委員は、町の2人を含め、川保町や小野町、会津若松市、いわき市など、10人がいます。

生きることや生きがいというのは、経済的なことばかりが優先されるものではないのでは、という思いもありますね」。

農家には自由な時間があるという佐野さん。仕事の進み具合を見ながら、自分で自由な時間をやりくりできることを知っている佐野さん。「もうすぐ、しっかりとした年間計画の中で農業をする時代がやってくるはずですよ。農家の女性も自由な時間を持つ存分使える時代がやってくると思います」。

「農業委員として」

佐野さんと佐藤視さんを含め十人の女性農業委員で福島県女性農業委員連絡協議会が結成されました。「農業委員になるまで農地法や農業関係の法律など知らなかったのですが、委員としてこれらの法律を詳しく勉強したり、知ることができたことはとても良かったと思います。農業をしている女性に限らず、多くの女性に、もつこういった機会が与えられたらすばらしいですね。また、専業農家の、殊に若いお母ちゃんたちは本当に頑張っています。生き生きとしています。その姿を間近に見ている私は、農業はもちろん、女性を取り巻く環境を少しでも良くして彼女たちに引き継ぎたいな、と思います」。

本と子供たち

豊野芙美枝さん

「公民館の移動図書のお手伝い始めてから、十八年がたちます。子供たちに接していると活力がわいてくるのよ。何よりも、一緒に楽しいから続けられたのね」と、話す豊野さん。山形県長井市から国見町に越してきてから始めた活動です。

「国見に来て落ち着いたころ、友だちをさがしたの。友だちがいなくちゃつまらないでしょ。この町でもたくさん友だちを作ろう、と思ったのよ。そんなとき、家庭文庫を開いていた内池和子さんと出会ったの。長井市でも図書活動に携わっていたから、一緒に勉強したいな、と始めたのがきっかけね。今は五人のお母さんたちがメンバーなの。女性だけでなく、子どもがあるんだけど、私たちはそうだったことがないのよ。楽しく活動しています。」

「すばらしさ」

「毎月、五つの小学校を回って、

たくさんの子供たちに接して思うのは、この活動を始めたころも、今も、子どもはちつとも変わっていないってことね。本はもちろん、紙芝居や折り紙も好きだし。道を歩いているとね、遠くから私を見つけ『本のおばちゃん』と声をかけてくれるし、スーパードで会っても『図書のおばちゃんなの』とお母さんに紹介してくれたりもするのよ。」

子供の素直さ、人なつっこさ、むじやきさに、やつぱりほほえんでしまいます。そして、子供たちのすばらしさ、不思議さにも感心したり..。

「移動図書では、子供たちに本を貸し出した後に、『お楽しみの時間』があります。紙たちも子供たちと一緒に、折り紙や染め絵をしたりするんだけど、子供たちはね、大人が思いもつけない発想の色模様を作ったり、遊んだりして、私たちをびっくりさせるのよ。本当に、不思議で、かわいいわよね。」



「お母さんへ」

『お母さんが本を借りてきちゃだめって言うの』という子供がいるの。本を読む時間があつたら、勉強しなさいってことなのかしらね。でもね、大抵の子供たちは本を読みたいのよ、本

が好きなのよ。だから、お母さんも子供と一緒に読んでくださいな。忙しいのはわかるんだけど、かたわらに本があれば、ほんのちよつとした時間でできることなんですもの。子供が、小さい子供でいる時間なんてあつという間ですよ。」

●● 公民館の移動図書 ●●

移動図書活動は、公民館の事業で、小学1年生から3年生までの子供たちに、図書の貸し出しをする事業です。毎月1回、公民館の担当者と移動図書グループのお母さんたちが、観月台文化センターの図書室の児童図書を持って、小学校を回ります。授業が終わった後、教室を借りて行われ、子供たちは、本がごっそりつまった箱から自分の好きな本を選びます。その後は『お楽しみの時間』です。ちょっとめずらしい折り紙やびっくりするほど大きな紙芝居、クリスマスカード作りや国見の民話かるた大会など、子供たちのお気に入りの時間です。なお、観月台文化センターの図書室と児童室には、自信を持っておすすめできる児童図書がたくさんあります。本の種類も買も、ほかの図書館に劣らない充実ぶりです。

母親

鈴木 道代さん



「私たちの活動の目的は、子供たちに人形劇を楽しんでもらうことなんです。それと子育て真っ最中のお母さんたちの情報交換です。心配ごとを話し合って、励まし合うことも大きな目的です」。

四年前に公民館の子育て教室で一緒だったお母さんたちが中心になって作った「サークル・エプロン」の代表・鈴木道代さん。自分たちで作った人形を使って、劇や歌を子供たちに楽しんでもらうお母さんたちのグループです。

「難しいことをしているように思われがちだけど、そうじゃないんです。専門的に勉強すれば、演出や人形の動き、劇の流れみたいなことは良くなるでしょうけど、私たちが楽しくなってきたら、サークルの活動は長続きしないんじゃないかしらん。『自己満足の域を脱していない』といわれてしまうかもしれないけど、子供たちはもちろん、私たちが楽しむながら活動したいのです」。

「続けたい」

「短大のときに、人形劇サークルで活動していたことが下地になっていました。もともと子供のころから好きだったんですよ。公演依頼は、町内だけにとどまらず、福島市や伊達郡一円の幼稚園や保育所からも舞い込んできます」。

「続けられるうちは、続けたいなと思っています。ただ、メンバーが減ってきたのが悩みの種ですね。子供が大きくなると、仕事に復帰するお母さんが多いのです。そうすると、人形作りの作業や練習にもなかなか参加できなくなってしまう。八人のメンバーで『せっかく始めたんだから、長く続けましょうね』と話し合っています。会員募集中です」。

「願い」

「母親ってね、ついつい子供の短所ばかりが目についてしまうけど、長所を伸ばしてやらないとね。同じ親から生まれた子供でも、それぞれが個性的、とっても不思議です。彼らの個性が

●●● 観月台公園の遊具 ●●●

観月台公園にあった子供の遊具は、平成3年から進められた観月台文化センターの建設と観月台公園の整備事業のために、一時的に撤去していました。しかし、これらの整備事業も昨年3月までに当初の計画どおり完了し、また、設置を希望する意見が寄せられてきたことから、遊具の設置場所について、調査と検討を続けてきました。

この結果、設置場所は、観月台公園内の旧1号池跡の芝生広場にしたいと考えています。また、規模や種類、時期などについても、設置に向けて現在調査中です。

十分に生かされる社会に変わっていきたくればいいな、と思います。それに、子供が小さいうちは、いつもそばにいてあげたいな、とも思います。おじいちゃんとおばあちゃんの協力があった活動です。感謝している鈴木さんです。

笑顔

を応援します



国見町の健康づくり事業

住環境が整い、食生活も豊かになった私たちの暮らしですが、その一方で運動不足や偏食、精神的なストレスが原因と考えられる心臓病や大腸がんなどの病気が増えてきました。

健康は、自分で守ることが基本です。食生活に気をつけたり、適度な運動をしたりしながら、体のことを考えた生活習慣を身に付けましょう。

国見町では、検診や健康教室、人間ドックなどの事業を行いながら、みなさんの健康づくりを応援しています。

★問い合わせ

保健福祉課 保健増進係

☎(585) 2783

一人当たりの医療費は県内71位

平成9年度の国保加入者一人当たりの医療費は、28万6,066円(8年度=27万3,290円)で、県内90市町村のうち高い方から71位(同=68位)となっています。

しかし、減少を続ける加入者や医療の高度化、専門化を考えたとき、国保の医療費は増加することが予想されます。

各種健康診断や健康教室、健康相談を通して、病気の早期発見や早期治療、治療後の事後指導など健康管理に気を付けましょう。

主な健康づくり事業

一般

▼基本健康診査：四十歳以上の方、血圧測定、尿検査、心電図、眼底検査、血液検査などを実施
▼結核検査：十六歳以上の方、胸部レントゲン撮影▼肺がん検査：四十歳以上の方（レントゲン読影は結核検査と併せて実施。喀たん検査は喫煙指数や血たんなどから対象者に通知）▼女性の健康診査：十八歳から三十九歳までの女性。基本健康診査と併せて実施▼骨粗しょう症検査

：十八歳から六十九歳までの女性▼胃がん検査・大腸がん検査：四十歳以上の方▼乳がん検査：三十歳以上の女性▼人間ドック・脳ドック：国保加入者対象。一泊または日帰りの検査。昨年からの脳検査も実施。（これらの検査の申し込みは「かいらん」でお知らせ）▼病態別健康教室：基本健康診査で異常が見つかった方を対象に、医師や栄養士の講義や調理実習など、その症状ごとに実施。

子ども・妊婦

▼三か月児・九か月児健診：小児科医の診察、身長や体重の測

定など▼一歳六か月児健診：内科・歯科診察など▼三歳児健診：内科・歯科診察と視力・聴力検査▼育児教室：身長・体重測定、離乳食など▼股関節脱臼予防検査：四か月児に通知。レントゲン撮影▼各種予防接種▼妊婦健診：二回まで無料。

健康相談

▼健康教室：成人病・骨粗しょう症予防などについての講義を地区ごとに実施▼健康相談：血圧測定、基本健康診査に基づく生活一般について地区ごとに実施▼機能訓練：日常生活訓練（月～二回）

国保税率が決まりました

七月二十一日に招集された国見町議会臨時会で、今年度の国民健康保険税（国保税）の税率などが改正されました。今回の改正によって一人当たりの国保税は一・〇％増の六万六千五百六十五円となっておりますが、一世帯当たりでみた場合には〇・五％減の十五万八千三百六十七円となりました。

国保は助け合い

国民健康保険（国保）は、加入者の所得などに応じて国保税を出し合い、医療費の支払いなどにあてるものです。いざというときに備えた「相互扶助」を目的としています。

五月現在で国見町の国保に加入している世帯は一千六百九十六世帯、加入者は四千三十五人

です。これは、町の全世帯の約五四・三％、全人口の三五・六％を占めています。

負担軽減のために

三千八百三十万円を充当

今年度の国保特別会計の予算額は、七億三百一十五万五千円です。町では、繰越金などから三千八百三十万円を充当しながら、

国保加入者の負担軽減を図ったところ、今年度の国保税額は二億六千五百八十四万五千円で、平成九年度に比べ〇・〇〇二％のわずかな増となりました。国保の医療費が少なければ、加入者が負担する国保税も少なくなります。

元気に暮らすことは、かけがえのない財産です。健康診断や人間ドックを上手に利用して、健康管理に気を配りましょう。

国保会計 1%減

平成9年度の国民健康保険特別会計から支出した医療費（老人保健拠出金を含む）は、平成8年度に比べ1%の減となりました。

これは、一般加入者の一人当たりの医療費額が減ったことが大きな要因です。

しかし、老人医療加入者の一人当たりの医療費額は伸び続けているため、国保会計から支出する額は1億4,000万円を超えています。

2割減額該当者は申請を

国保税は、条例で定める金額以下の所得者層を対象に、均等割と平等割について7割、5割、2割の減額を行っています。このうち、2割減額対象者は、申請手続きが必要です。該当者には、今年度の確定通知と一緒に申請書をお送りしますので、必要事項を記入のうえ、8月31日までに税務課へ提出してください。

★問い合わせ

税務課 課税係 ☎(585) 2778

「国見ニュータウン」に決定

入賞者を表彰



六月十九日、板橋南住宅団地の愛称決定表彰式が行われ、八人の入賞者に表彰状が贈られました。

愛称募集は、昨年十一月から今年一月までに行われたもので、六十九件の応募がありました。四月十六日に愛称審査会を開き、最優秀賞をはじめ、入賞作を決定しました。最優秀賞は福島市に住む斎藤允成さんの作品「国見ニュータウン」が選ばれました。

表彰式には、入賞者八人が出席し、富永町長が一人ひとりに賞状と記念品を贈りました。

また、式に先立ち、富永町長は、「第三次国見町振興計画を検討しているとき、恵まれた自然と地理的な好条件を上手に生かした住宅団地の造成を」というご意見が出されました。これに基づき町では、百六十二区画の

分譲予定地と、五十戸の町営住宅を含めた住宅団地の造成事業を行うことになりました。この事業では、活用できる国や県の助成制度をすべて取り入れて、桃の里にふさわしい住宅団地を造りたいと思います。来春の完成を目指して工事が進められていますが、分譲が始まったら、入賞者のみなさんもPRをよろしくお願いします」とあいさつしました。

なお、来賓には吉田町議会議長が出席しました。



入賞者

- ◆最優秀賞 ◇斎藤 允成さん
(福島市「国見ニュータウン」)
- ◆優秀賞 ◇秦 健夫さん (福島市)
- ◇荒井 正さん (◇)
- ◆アイデア賞 ◇八巻 衛さん (国見町)
- ◇徳江 キヨさん (◇)
- ◆佳 作 ◇佐藤 健郎さん (国見町)
- ◇亀岡キミ子さん (◇)
- ◇蒲生 静江さん (◇)

中学生の がんばり

スポーツをしている中学生が目標にしている中体連。県北大会へ出場した選手たちの結果をお知らせします。

【軟式野球(Aブロック)】…第2位

【バレーボール】

◆男子…ベスト8

【ソフトテニス】

◆女子…第3位

◆男子…ベスト8

【柔道】

◆男子

◇(78kg級)…後藤基…第3位

【水泳】

◆女子

◇(100m平泳ぎ)佐藤香那…第2位

◇(200m平泳ぎ)佐藤香那…第2位

◆男子

◇総合…第3位

◇個人(50m自由形)

鈴木悟…第2位

◇(100m自由形)笠松幸治…第2位

鈴木悟…第4位

◇(200m自由形)笠松幸治…第1位

菅野大輔…第4位

◇(400m自由形)菅野大輔…第6位

◇(100m背泳ぎ)阿部真人…第5位

◇(200m背泳ぎ)阿部真人…第5位

◇(100m平泳ぎ)穂刈春樹…第5位

高橋五純…第6位

◇(200m平泳ぎ)穂刈春樹…第5位

◇(100mバタフライ)

笠松靖広…第2位

◇(200m個人メドレー)

笠松靖広…第1位

◇(男子400mメドレーリレー)

県北中…第2位

◇(男子400mリレー)

県北中…第3位

(水泳の順位は、伊達管内での順位に
おきかえたものです。)



クリーンアップ作戦

みんなであそびたい



河川愛護月間に伴って、7月5日に町内主要河川と道路のクリーンアップ作戦が展開されました。この美化キャンペーンは今年で17回目です。

この日は、すでに行った五町内会を除く五十八の町内会が参加、約三千人が参加しました。作業は、町内会によっては午前五時から開始し、河川や河川敷などに捨てられたままになっている空き缶やプラスチックなどのごみを拾ったり、伸びた雑草の刈り払いをしました。また、街路や花壇の除草、側溝の清掃も行われました。

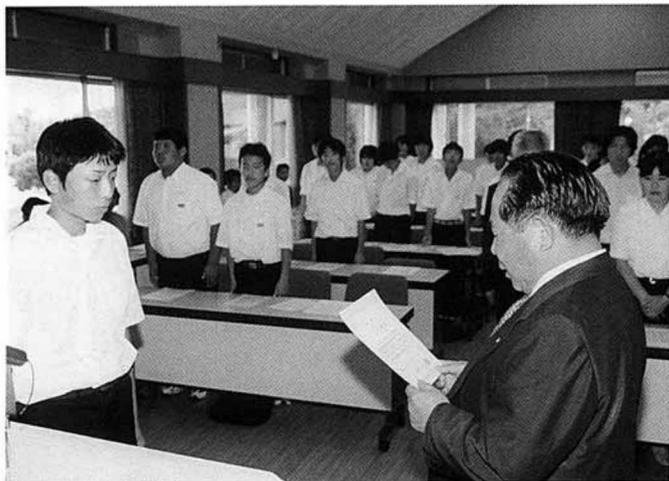
滝川、普蔵川そして竜護院川では、富永町長が「朝早くからご苦労さまです。おかげでとてもきれいになりました」とあいさつしながら、一緒に河川敷を歩き、ごみを拾い集めました。今回の作業で集められたごみの量は九tで、昨年と比較してほど少なくなりました。



子どもたちを

よろしく

大分・国見町に中学生を派遣



福岡、大分そして長崎の三つの「国見町」が、交流協定を結んで一年。この夏、県北中の生徒二十九人を大分・国見町に派遣します。

七月二十三日、大分・国見町交流派遣団の結団式が行われました。富永町長が派遣団員の代表・斎藤寛くん（三年）に団員証を交付した後、「交流協定を結んだ後、人や物の交流をしよう」と話し合いが進められてきました。そして今回の中学生の派遣が実現しました。団員のみなさんは、県北中学校の生徒としての誇りを持って交流をしてきてください」と激励しました。

吉田町議会議長の祝辞の後、佐藤直樹くん（三年）が「いろいろな体験をしてきたいと思えます」と誓いの言葉を述べました。八月四日に国見を発ち、国見中学校の生徒との交流やキャンプ、海でのカヌーなどを体験し、七日に帰ってきます。



大分・国見町からは研修に

中学生の交流派遣団の結団式が行われた日に、大分・国見町の管理職員が研修視察に訪れました。管理職員七人は、国見町の様子を研修した後、結団式に出席して大分・国見町の紹介も。その後、富永町長と吉田町議会議長を交えた町管理職員との合同研修会も開かれ、活発な意見交換が行われました。



保育所の子どもたち



おむつ

「おしっこ、出ちゃったかな」と、布おむつをはずしてみます。「うーん、残念」おりこうさんだったね」と、その時々のお母の声を聞こえてきます。これに答えるような子供たちのちよっぴり残念そうな顔や、にこにこの笑顔。そんな毎日を繰り返している「おむつ組」です。

おむつをはずすには、夏を迎えた今が一番です。おむつ交換のときには、どの子もお尻を出したまま、室内をうれしそうに走り回ります。すっきり、さっぱり、気持ちがいいのですね。

子供が一歳になったら、おむつをはずす準備を始めましょう。

個人差はありますが、半年ぐらいで、はずすことができます。まず初めは、三十分から一時間を目安におむつを見てあげましょう。そうすると、子供のおしっこの間隔がわかります。特に、昼寝などから目覚めたときに一番良いでしょう。間隔がわ

かったら、しめたものです。

また、不快感を感じる布おむつの方が、おむつをはずす練習には良いと思います。そして、おむつを取り替えるときには、必ず子供に「言葉かけ」をしてあげてくださいね、お母さん。

(藤田保育所長 木口絹子)



幾百年 子供を守る 小坂の地藏様



これは、小坂の子育てで地藏様にまつわる言い伝えのほんの一部です。

◇ ◇

子育てで地藏様は子供と遊ぶのが大好き。あるとき、大勢の子供が大騒ぎをしながら、泥んこ遊びをしていました。見るとお地藏様を泥に埋めて大喜び、びつびつした父親が、あおてて子供をしかつたり、お地藏様を洗ったり、床の間にお飾りしたり。ところがその夜、その父親は大層な腹痛に見舞われたそう。何としたことか」と巫女さんに拝んでもらったとき、「せつかく子供たちと楽しく遊んでいたのに」と、何ともこぼ満気にお地藏様がおっしゃ

くにもの 民話かるた

お再発見

つたという事です。

さて、弱い子供を丈夫に守り育てていただくために、お地藏様はあちこちに借りていかれました。あるとき、半田の人がお借りして行くとき、その家の子供が「お地藏様が泣いている。家に帰りたいと泣いているよう」といつてきません。仕方なく、代々お地藏様をお祀りしている高原家へお返ししたところ、その夜、半田沼が抜け、ふもとの村は大水になったそうです。

本当のお姿は、子供にか見えなかったということでしょうか。

9月9日は救急の日

救急通報のポイント

- 「救急です」といってから、名前、住所、目印になる建物、電話番号を伝えます。
- けがの原因、どんな状態で発病したか、今の状態を簡単に説明します。
- 救急車のサイレンが聞こえたら、分かりやすい場所に出て誘導します。
- 携帯電話は、使えなかったり、通報地点と離れた消防署につながる場合があります。

保健だより

保健福祉課 保健推進係 ☎(585)2783

*** 乳児診療 ***

該当乳児	実施日	受付時間	場所
3か月児(平成10年6月生まれ) 9か月児(平成9年12月生まれ)	10月22日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

☆医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、家族計画などについて
☆母子手帳を忘れずに！

*** 育児教室 ***

該当乳児	実施日	受付時間	場所
平成10年3月～ 4月生まれの乳児	10月12日(月)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

☆身長・体重測定、離乳食、予防接種などについて。
☆母子手帳を忘れずに。

*** 小児マヒ予防ポリオ生ワクチン投与(秋期分) ***

該当乳幼児	実施日(地区別)	受付時間	場所
実施日に満3か月から7歳6か月までのお子さんで、ポリオ未完了のお子さん	藤田地区 10月26日(月) 藤田地区以外 10月27日(火)	午後1時30分～ 2時	観月台文化センター 体育館

☆ポリオ生ワクチン投与は、6週間以上の間隔で2回実施します。今年1回だけだったお子さんは、来年もう一回投与を受けてください。
☆ポリオ予防票に必要事項を記入の上、おいでください。
☆予防接種は、健康なときに受けましょう。お子さんにちょっとした異常がある場合は、必ず医師や保健婦に申し出てください。
☆母子手帳を忘れずに。
☆ポリオ生ワクチン投与後4週間は、ほかの予防接種は受けられません。ご注意ください。

お知らせ
八月二十七日(木)、九月十七日(木)は、医療機関の都合により予防接種の予約受付ができません。ご注意ください。



福島県東北保健所では、一般の方を対象に精神保健福祉講座を開催します。▼対象：一般住民▼定員：百人(先着順)▼受講料：無▼日時：9月19日(水)～10日(木)▼場所：東北保健所 大会議室▼申込手続：官製はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、九月二日までにお申し込みください。
★申込・問い合わせ
〒960-8001-2
福島市御山町8-30
東北保健所 健康推進課
健康づくり係
☎(5334)43000

こころの時代を生きる

いんぷお め〜しよん

募集

医療事務

講習会

初心者を対象にした病院受付事務や医療請求実務についての講習会です。

▼科目：医療事務(医科)
▼内容：医療事務全般▼期間：時間：九月二十九日から十一月十七日までの火・水・金曜日。午前九時三十分から午後三時三十分まで
▼会場：(県女性就業援助センター) (県庁東分庁舎)
▼定員：就職を希望する女性二十四人▼受講料：無料▼申込方法○期間：九月一日から二日まで○時間：午前九時から午後四時まで○場所：県女性就業援助センターで受け付けます。電話での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。

★問い合わせ
県女性就業援助センター
☎(521) 7740

POP

ステンシル講習会

店内広告、ダイレクトメールやギフトカードなどのデザイン技法の講習会です。
▼内容：POP(店内広告) ステンシル(型抜版画)に

関する基本と応用▼期間：時間：九月三日から十一月十二日までの月・木曜日。午前九時三十分から午後三時三十分まで▼会場：(県女性就業援助センター) (県庁東分庁舎)▼定員：就労を希望し、全期間出席できる女性二十人▼受講料：無料▼申込方法○期間：八月十八日から十九日まで○時間：午前九時から午後四時まで○場所：県女性就業援助センターで受け付けます。電話での申し込みは受け付けませんのでご注意ください。

★問い合わせ
女性就業援助センター
☎(521) 7740

ほのぼの写真コンテスト

98福祉フェスティバルinくにも実行委員会では、ふれあいをテーマにした「ほのぼの福祉写真コンテスト」を実施します。ぜひ、ご応募ください。

▼テーマ：心のふれあい、ほのぼの写真(ボランティア活動、社会福祉施設での活動、世代間交流事業、孫と高齢者、夫婦、家族、ゲ

ートボールの様子など)▼規格：四つ切りプリント(応募写真のサイズ判を一枚同封すること)▼応募方法：作品の裏に応募票をはり、郵送または持参すること▼応募期限：九月四日(金) 必着▼賞：最優秀賞 優秀賞など多数▼発表：福祉フェスティバルの会場に展示▼応募先：〒969-1792 国見町大字藤田字一丁田二、2の1 保健福祉課または町社会福祉協議会

★問い合わせ
保健福祉課 福祉係
☎(585) 2793

ウッディハウス

利子補給事業

福島県では、住宅金融公庫の融資を受けて在来軸組木造住宅を新築または購入する方に対して、借入金の利子の一部を補助する事業を行っています。

▼募集期間：八月十七日から九月十八日まで▼募集戸数：百四十戸▼内容：住宅金融公庫対象融資額の元金残高の利子の〇・五%を五年間補助▼条件：○県内に自分が住む住宅を新築また

西分署 だより

気を付けて

家庭内事故

家庭で、普段、何気なく使っている物などが原因の事故が増えています。

▼火災：プラスチック製の容器に吸い殻を入れて寝た「アロマテラピー」のろうそくの火がカーペットに燃え移ったなど、生活習慣から火事が発生する例が増えてきました。

▼救急車の出勤：家庭内の事故は、五歳までの乳幼児と六十五歳以上のお年寄りが大半を占めます。「スニーカーの袋を踏み、滑って転んだ」「ドアに指を挟む」など、小さい子供の視点で家の中を見直すことも大切です。

▼水の事故：お風呂やビニールプールも要注意です。おぼれた場合、刺激を与えて反応があるときは、保温し安静にします。肺に水が入り肺炎を起すこともありますから注意しましょう。また、西分署では救急法講習会を開催していますからご参加ください。

★問い合わせ

伊達地方消防組合西分署

☎(582) 3190

元気な町づくり

義経まつり

が始まります

この事業は、福島県の商業活性化事業として国見町商工会が主催、国見町をはじめ町内の各種団体が共催する事業です。盆踊り、火花大会、そして武者行列が行われます。

8月14日

- ★歩行者天国
 - 時間…正午から午後10時
 - 場所…藤田商店街
- ★盆踊り
 - 時間…午後7時
 - 場所…商店街

8月15日

- ★灯ろう流し・火花大会
 - 時間…午後7時30分
 - 場所…観月台公園

9月23日

- ★歩行者天国
 - 時間…午前10時(予定)
 - 場所…藤田商店街
- ★武者行列
 - 時間…午後1時30分(予定)
 - 場所…藤田商店街

は購入すること。県優良木造住宅建設基準に適合した住宅を取得すること。住宅金融公庫の借入申込みと同時に申し込むこと。地域優良木造の割増融資を受けること。▼申込先：県内の住宅金融公庫取り扱い金融機関

★問い合わせ

福島県 建築住宅課
☎(521)7522

海上保安学生

海上保安大学・学校では学生を募集しています。
【大学校学生】▼受付期間…八月二十七日から九月八日まで▼受験資格：昭和五十三年四月二日以降に生まれたる者(学校学生)▼受付

期間：八月十七日から三十一日まで▼受験資格：昭和五十年四月二日以降に生まれたる者

★申込・問い合わせ

〒985-0011

塩釜市真山通3の4の1

塩釜海上保安部

☎0223630114

県立

テクノカレッジ

県立高等技術専門校(テクノカレッジ)では、学生を募集します。テクノカレッジは、すぐれた講師陣と最新の設備を備え、少人数制による密度の濃い教育をしています。

▼募集期間：○推薦 十月一日から九日まで○一般

十一月一日から十九日まで▼試験日：○推薦 十月二十日○一般 十一月三十日

★問い合わせ

福島県 職業能力開発課
☎(521)7299

くにみの美

フォトコンテスト

長崎県と大分県の国見町として私たちの町の三県合同企画によるフォトコンテストを実施します。おらが町、国見町の美しい自然、伝統など、魅力ある国見町を写した写真を募集しています。

▼テーマ：国見町の風景、各種行事・運動会、祭り、盆踊りなどを写した写真

▼募集期限：九月一日(火)まで▼規格：カラープリン四つ切り、ワイド四つ切り▼応募方法：応募者に必要事項を記入し、作品の裏にはること▼応募先：〒969-1176 国見町大字藤田字一丁田三、12の6あつかし交友会事務局 鈴木あて▼注意：国見町内で撮影した作品に限る。入賞作品は返却しませんが、その他の作品については、返却希望と明記されている作品についてはのみ返却。応募時に返信用切手をはり、あて先明記の封筒を同封すること。入賞者はお方を提出すること▼賞：町長賞(一点)、優秀賞(四点)、入賞(五点)、奨励賞(五点)▼発表：九月下旬

★問い合わせ

あつかし交友会事務局
☎(585)2384

県統計グラフ

コンクール

福島県では、統計思想の普及と統計技術の向上のために統計グラフを募集しています。

▼応募資格：○小学三年生以下の部○小学四年生以上の部○中学生の部○高校

ご隠居の年金よもやま話

～付加年金の巻～



ご隠居と棟梁の照さんが、冷えたビールで夕涼み…。

照：暑い日が続きますなあ、銭湯帰りのビールが最高ですな、ご隠居。

ご隠居：かんかん照りのお天道様の下での仕事は大変だね。

照：いやあ、暑さよりも不景気で仕事が減ることの方がこたえますやねえ。ところで、国民年金には付加保険料ってのがあるって聞いたんですが、どんな保険料なんです？

ご隠居：付加保険料というのは、定額保険料に毎月上乗せて納

める保険料のことだよ。保険料額は400円じゃ。

照：ほお、400円ですかい。で、いただくときは？
ご隠居：納めた期間について、ひと月あたり200円で計算された額が、老齢基礎年金を受給している間、ずっと加算されるんじゃ。

照：付加年金に入ったりやめたりは、自由なんですかい？
ご隠居：農業者年金に加入している人は必ずじゃが、その他は自由。手続きは、お役所じゃ。

照：公務員や社員の八つっあんなんかにもあるんで？
ご隠居：いやいや、これは国民年金の1号加入者の、それも老齢基礎年金だけの独自給付なんじゃよ。

★問い合わせ 住民課年金係 ☎(585)2179

国見町敬老会

平成10年度の国見町敬老会は、9月11日(金)に観月台文化センターで行ないます。

式典とアトラクションは午前10時から体育館で行ない、午後1時からはホールで「津軽ひろ子歌謡ショー」をお楽しみいただきます。

なお、これらの催しへのご招待は70歳以上の方々で、後日ご案内いたします。

★問い合わせ
保健福祉課 福祉係
☎(585)2793

塚野目ロードレース大会

■日時

10月18日(日)

午前8時・塚野目集会所集合

■申込締切

10月13日(火)

■問い合わせ・申込先

大会事務局(寺島)

☎(585)4865

農業・農林行政

福島県北農林事務所では、うつくしま夢づくり助成事業の一環として、次の

★問い合わせ
福島県 統計調査課
☎(521)7150

福島県 統計調査課
☎(521)7150

意見を集集しています。
〔農業と農村の活性化ビジョン〕
▼テーマ：自分が生まれ育った農村や第二の故郷として愛着を抱いている農村の活性化のための提言▼募集期限：十月三十一日(土)まで▼応募資格：県北地域に在住、在勤している方、または出身者で、十五歳以上の方▼応募方法：町の農林課に備え付けの応募用紙に必要事項を記入し、自分の提言を具体的に記載した原稿を同封すること。原稿はA四判・四百字詰原稿用紙、またはA四判ワイド用紙を使用すること。字数は問いません。また、図などの添付可(応募作は返却しません)▼賞：◇優秀賞(一点・十万円分の旅行券)◇金賞(一点・五万円

分の旅行券)◇銀賞(二点・三万円分の旅行券)◇佳作(七点・一万円分の商品券)〔農林行政に対する提案〕
▼テーマ：県の農林行政に対する意見や提案を募集します。県北農林事務所長が直接お受けします▼募集期限：十二月三十一日(木)まで▼応募資格：県北地域に在住、または在勤している方▼応募方法：町の農林課にある所定の応募用紙に意見、提案を記入し、備え付けの封筒に入れ、切手はらずに、直接県北農林事務所へ郵送してください。
★送付先・問い合わせ
〒96018670
福島市杉妻町5の75
福島県北農林事務所
☎(521)7661
☎(521)7712

なりました◇手当の支給には所得制限があります。一部支給の場合と扶養義務者などの所得制限が引き下げられまして▼現況届：九月十日までに提出してください。全額支給停止されている方も必要です▼その他：支給要件に該当してから五年を経過すると請求できなくなりますが、ご注意ください▼特別児童扶養手当：精神または身体に障害を持つ児童と生活している方に支給されます。
★問い合わせ
保健福祉課 福祉係
☎(585)2793

催し・お知らせ

県民の日 フェスティバル

福島県北地方振興局では、昨年制定された県民の日(八月二十一日)を記念して、次の催しを実施します。入場は無料です。
▼日時：八月二十三日(日)午後一時～会場：福島県文化センター1内容：◇民話劇、昔話、伝統芸能◇県北地方ちなんだグッズ大会◇記念品プレゼント(先着八二人)◇JAI伊達みらいによる農産物の販売(農産物の販売は正午から)
★問い合わせ
県北地方振興局
☎(521)7624

児童扶養手当が 変わりました

▼変わった点：◇父親に認知された児童も支給対象と

9月の心配ごと相談

4日(金) 松浦 輝夫さん
井砂喜代子さん
16日(木) 斎藤 光夫さん
浅野やへ子さん
25日(金) 鶴田 清一さん
野村 トモ子さん
・場所 役場(2階)相談室
・時間 午前9時～正午

人口と世帯

人口7月1日現在
男 5,517人(+7)
女 5,899人(+9)
計 11,416人(+16)
出生10人 死亡9人
転入27人 転出12人
世帯
3,128世帯(+3)

遊んで学んで楽しんじゃおう 下水道まつり

9月12日(土) 午前9時～午後3時
アクアクリーンあぶくま
(県北浄化センター)
●センター見学 ●マスコット取り
●ペットボトルロケットほか
★問い合わせ 県北浄化センター ☎(585)1601

〇〇結婚おめでとう

(鈴木政人さん
斎藤文美さん
大町北)

●誕生おめでとう

お子さん 保護者
佐藤太一、弘樹、晴香(第1)

〇〇おめでとう

佐藤 次男、
三雄、
松浦 フク、
熊坂 イセ、
佐久間ミツイ、
本田アキヨ、
上澤 芳正、
瀬戸 正志、
菊地 憲七、
73 (山崎北)
77 (石母田東)
73 (築館)
72 (内容東)
77 (第2)
80 (大町南)
56 (大木戸)
31 (中部)
73 (第10)

(7月20日届出分まで)



生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎ (585) 2676 FAX (585) 2707

楽しく英会話

～英会話教室～



公民館の「英会話教室」が、六月四日から十月二十二日まで十六回の予定で観月台文化センターで開かれています。

簡単な日常英会話をマスターしてもらおうと開催しているもので、十二人が受講しています。講師は県北中学校英語指導助手のサーラ・バイハム先生です。初回は、英語で自己紹介をしたり、サーラ先生の出身地イギリスの生活習慣について話を聞いたりして、楽しい時間を過ごしました。

自然のなかで

～子育て教室～

七月三日、五回目の子育て教室が桑折町の半田山自然公園で行われました。今回のテーマは「自然のなかです」。母と子、保育ボラン

ティア合わせて三十六人は、緑豊かな半田山を目指して十時に観月台文化センターを出発しました。この日は、今夏最高の気温でしたが、山の公園は心地よい風も吹いてとても清々しい気分でした。講師の鈴木敬子先生の指導で楽しくゲームをしたり、形ざがしのフィールドワークをしたりして、みんなで自然を満喫しました。

幼児が疲れたころには、鈴木先生手づくりのエプロンシアター「ジャックと豆の木」も演じていただきました。

そして、おいしい昼食の後は、母子で沼の周辺の散策です。お母さんたちよりも子供たちの方が元気がよく、駆け出ししています。突然、子供の一人が



「先生、早く来てえー」と叫びました。声のする方へ急いで行くと、眼下にはエメラルドグリーン半田沼があったのです。生まれて初めて見る光景だったのでしよう。また、初めて味わう感動だったのでしよう。「きれいだねえ」としばらく二人で眺めていました。

幼児期に味わうこのような感動が、この子からの人生の大切な心の物差しになるのでしよう。午前中の活動ももちろん有意義でしたが、散策しながら味わったさまざまな感動も、たくさんの子供たちの胸に、強く焼き付いたことと思います。



二千人が参加 98オリンピックテララン

福島大会

六月二十一日、上野台運動公園総合運動場で、オリンピック精神の普及を目的に「98オリン

ピックテララン福島大会」が開かれました。

この日の参加者は約二千人。富永町長の号砲で一斉にスタートした参加者は、山下副史選手をはじめ五人のオリンピック選手と一緒に、約2キロのコースを走りました。

国
見夢音頭

演歌歌手・津軽ひろ子さんが「国見夢音頭」を作詞作曲し、寄贈してくださいました。明るく楽しいこの曲は、9月11日に親月台文化センターで行われる「津軽ひろ子歌謡ショー」で初披露、お楽しみに。



(カセットテープを手渡す稲村マネージャー)

ま
っすぐで、
素直な子に

町健全育成町民会議の総会が親月台文化センターで開かれ、健全育成に関する事業などを承認しました。また、富永町長が、スポーツ少年団活動に取り組んでいる吉田久代治さんに表彰状を贈りました。



お
いしく、
安全な水を

伊達郡内の町水道関係者で組織する伊達地方水道協会の総会が親月台文化センターで開かれました。同協会の副会長を務める富永町長は「今後、おいしく、安全な水の供給に努めたい」とあいさつしました。



あ
りがとうございました



町の建設業組合と管工事組合のみなさんが、上野台運動公園とその周辺の町道の清掃してくださいました。これはオリンピックデー・ランの開催に伴っての奉仕作業です。

おいさをください

そうじ機

森江野小 原田 裕希

そうじ機は

そうじになると大きなき

どんどん吸い込む

ほっきもちりとりも

はたきもちりとりも

みんなであつまれば大きなき

です。

さわげばさわくほど、きれいになる

きれいになったら

電気を切られ、箱の中へしまわれる

ほっきもちりとりも

はたきもちりとりも

部屋がきたなくなるまで

しまわれる

児童生徒文集「く」にみ第30号こ

編集・発行/国見町 総務課

〒969-1792
福島県伊達郡国見町大字藤田字
一丁田二の1

☎ 024-585-2111
FAX024-585-2181